

2008年5月2日

投資脳の作り方

～NY株上昇、原油下落に反応～

経済アナリスト 木下晃伸（きのした・てるのぶ）

■当資料は、経済アナリストの木下晃伸が、投資環境についての情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■当資料に基づいてとられた投資行動の結果については、株式会社きのしたてるのぶ事務所（以下当社）ならびに木下晃伸は一切責任を負いません。■当資料の内容は当資料作成時のものであり、将来予告なく変更される事があります。■当資料は、当社が信頼性の高いと判断した情報に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料におけるデータ・分析等は過去の一定期間の実績に基づくものであり、将来の投資成果及び市場環境の変動等を保証もしくは予想するものではありません。

本日お話をさせていただくこと（目次）

● 「投資脳のつくり方」

- NY株上昇、原油下落に反応
- 新生GM、本拠地は新興国
- エミレーツ航空、最高益

● 「個別銘柄情報はこちらから」

「なぜ、この会社の株を買いたいのか？」（プレミアムメールマガジン）ご紹介

●お申し込みはこちらから（1ヶ月間は無料視聴、いつでも停止できます）

（まぐまぐ）<http://premium.mag2.com/mmf/P0/00/50/P0005007.html>

（フィスコ）<http://fisco.jp/report/mail/terunobu-kinoshita.html>

NY株上昇、原油下落に反応

(出所) 2008年5月2日付日本経済新聞夕刊3面

- ダウ工業株三十種平均が4ヶ月ぶりに13,000ドル台を回復
- 原油安に伴い、買い安心感が広がった
- 米経済は心配したほど悪くないのか？

1日の米株式市場でダウ工業株三十種平均が4ヶ月ぶりに13,000ドルの大台を回復した。これを受け、翌2日の日本株も前日比282円高の14,049円と同じく、14,000円台を回復した。

安心感が漂う中で、世界的な株高となっている。2日のインド、センセックス指数は17,600ポイントと3月中旬の底値から18.8%もの上昇となっている。ブラジルのボベスパ指数は、67,868ポイントと最高値を更新した。

4月の独立を機に、プレミアムメールマガジン「木下晃伸をファンドマネジャーに雇いませんか」をスタートしている。そのうち世界株を扱う「プラチナレポート」では、私自身がファンドマネジャーであれば、こういった売買を行うだろうというモデルポートフォリオを公開している。私が客員アナリストを務める株式会社フィスコ(ヘラクレス:3807)算定による基準価額は、10,469円と安定した推移となっている。

かつては富裕層にしか認められていなかった世界に投資するというダイナミズムを今では誰でも簡単に行うことができる。また、実際に現地を眼で見ることで、投資の確度も増す。

同レポートにご興味ある方は、【プラチナレポート問い合わせ20080502】と題しお問い合わせいただきたい。

toiawase@terunobu-kinoshita.com

新生GM、本拠地は新興国

(出所) 2008年5月2日付日経産業新聞16面

- 米ゼネラルモーターズの直近決算は32億ドルを超える赤字
- 米フォード・モーターは三・四半期ぶりに最終黒字に転換
- トヨタと世界販売台数トップを競うGMはどうなるのか？

米ゼネラル・モーターズ(GM)の2008年1-3月期決算は最終赤字が32億5,100万ドルとなった。しかし、中南米など新興市場での自動車販売は好調だ。

4月30日の決算発表会見でレイ・ヤングCFOは「公平に見て新興市場でGMは強い」と発言した。北米こそ業績が悪化しているものの、ブラジルなど新興国市場の自動車事業は堅調だからだ。

しかし、株価はおぼつかない。すでに1-3月期決算で、三・四半期ぶりに最終黒字に転換し、リストラ効果が出始めているフォードとの株価の乖離は非常に大きくなっている。

フォードとGM比較チャート(3ヶ月)

<http://finance.yahoo.com/q/bc?t=3m&s=GM&l=on&z=m&q=l&c=f>

ただし、本業で儲けている企業は、いずれ復活する。たしかに、GMは金融子会社GMACや関連子会社の支援による損失などがあるため見栄えは悪い。しかし、新興国への足がかりは、トヨタ自動車よりも強い可能性がある。主戦場が新興国市場に移る中で、日本の自動車メーカーは、かつて半導体メーカーが歩んだように、強い日本連合ではなくなる可能性もある。GMの今後の展開は、投資対象を探る上でも注目する必要がある。

エミレーツ航空、最高益

(出所) 2008年5月2日付日経産業新聞4面

- UAEドバイのエミレーツ航空は、純利益が最高になったと発表
- ドバイと米欧を結ぶ路線の乗客数が目立って増えた
- 保有機数を4月末の115機から2010年までに163機に増やす予定

アラブ首長国連邦(UAE)ドバイのエミレーツ航空は2008年3月期の純利益が前期比62%増の13億7,000万ドルと過去最高になったと発表した。乗客数は同21%増の2,120万人。ドバイと米欧を結ぶ路線の乗客数が目立って増え、売上増につながった。

一方の日本はといえば、日本航空の2008年3月期の連結業績は大幅に上方修正したものの、当期純利益は160億円。実にエミレーツ航空の8分の1の規模に過ぎない。

日本に魅力があれば、もっと人を呼び込める可能性もある。しかし、それは現実的に難しくなっている。経済大国第2位という言葉があるが、すでにその実感は無い。

実際、世界の時価総額ランキングを見てみると、日本最大のトヨタ自動車は世界で第29位。100社の中に日本企業はたった2社しかランクインしていない。米国、中国、スペイン、インド、ブラジルなどなど、先進国から新興国に至るまで幅広い企業が世界のトップ100を構成している。

世界の小国である日本は、積極的に世界と関わっていく必要がある。投資もまったく同じだろう。魅力ある地域に飛行機で飛ぶように、魅力ある地域にマネーを動かせばいいだけだ。

個別銘柄情報はこちらから

「なぜ、この会社の株を買いたいのか？」（プレミアムメールマガジン）

- ファンドマネジャー、アナリストの**実際の議論現場**を克明にお伝えします
- 1,000社以上の取材に裏打ちされた、**理論的な株式投資ノウハウ**を全開示
- **ネットセミナー**ならではの臨場感をお楽しみください

個別銘柄投資を通じ、**年率20%以上のリターンを確実に求めていくためには、理論に裏打ちされた確かな投資ノウハウを知っておく必要があります。**

実務経験があるからこそ気づいた投資ノウハウ、また、個別銘柄を徹底的に分析する際に、何を見て、何に気づけばいいのか、ネットセミナーを通じて克明にお伝えしていきます。

●お申し込みはこちらから（1ヶ月間は無料視聴、いつでも停止できます）

（まぐまぐ）<http://premium.mag2.com/mmf/P0/00/50/P0005007.html>

（フィスコ）<http://fisco.jp/report/mail/terunobu-kinoshita.html>

重要事項（ディスクレーム）

- 掲載される情報は株式会社きのしたてるのぶ事務所（以下当社）ならびに経済アナリスト木下晃伸が信頼できると判断した情報源をもとに作成・表示したものです。その内容及び情報の正確性、完全性、適時性について、当社ならびに木下晃伸は保証を行なっており、また、いかなる責任を持つものでもありません。
- 本資料に記載された内容は、資料作成時点において作成されたものであり、予告なく変更する場合があります。
- 本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権は当社ならびに木下晃伸に帰属し、事前に書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは堅く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは堅く禁じられています。
- 本資料により提供する投資情報は、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。
- 本資料に掲載される株式、投資信託、債券、為替および商品等金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。
- 本資料は、本資料により投資された資金がその価値を維持または増大することを保証するものではなく、本資料に基づいて投資を行った結果、お客様に何らかの損害が発生した場合でも、当社ならびに木下晃伸は、理由のいかんを問わず、責任を負いません。
- 当社とその取締役、従業員は、本資料に掲載されている金融商品について保有している場合があります。
- 投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。